

令和3年度

仙台市高速鉄道事業会計
決算説明資料

- 1 決算の概況
- 2 事業実績表
- 3 予算決算比較表
- 4 建設改良事業の概要

仙台市交通局

1 決算の概況

本年度の高速鉄道事業は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により乗車料収入が低迷する厳しい経営状況のなか、「仙台市交通事業経営計画」（計画期間：令和3年度～令和12年度）の4つの戦略「安全・安心の推進」、「快適なお客さまサービスの提供」、「まちづくりへの貢献」、「持続可能な経営の確保」に基づき、各種取組みを進めてまいりました。

施設設備の計画的な維持更新の取組みとして、南北線において、老朽化した配電室の高圧受電設備の更新及び、トンネルや高架橋の補修を実施するなど、安全性の向上を図りました。また、危機・自然災害への対応の取組みとして、自然災害を想定した防災訓練を行ったほか、テロ対策を想定した対応訓練を行いました。

利用しやすい環境整備の取組みとして、全駅の駅出入口の階段の段差明瞭化や駅構内における触知案内設備の整備及び、駅トイレ入口における段差解消の全面改修を完了しました。そのほか、台原駅ホームから改札階におけるエスカレーター設備の増設を行うなど、更なる利便性の向上に努めました。

公共交通の利用促進の取組みとして、車両基地内を見学できる「バス・ちか探検ツアー」を、感染症対策に配慮し人数制限を設けて行うとともに、車両基地における車両整備等のバックヤードの状況を動画配信サイトで公開するなど、広報を行いました。また、スマートフォン等で、目的地までのルート検索やチケット購入を行うことができる「仙台 MaaS」において、「るーぷる仙台・地下鉄共通一日乗車券」の販売を開始し、観光客等が手軽で快適に利用できる環境を整備しました。

経営の健全化の取組みとして、お客様サービスを維持しつつ効率的な事業運営を図るため、20駅において駅業務の委託を継続的に実施しました。

このような状況のなか、乗客数は74,982千人（1日平均205,430人）と前年度に比較して5,381千人、7.7パーセントの増、乗車料収入（消費税及び地方消費税抜き）は126億7千6百万円（敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証負担金を含む。）と前年度に比較して10億5千6百万円、9.1パーセントの増となりました。本年度における収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）につきましては、前年度に比較して34億1千7百万円改善し、28億3千2百万円の純損失となり、当年度未処理欠損金は957億5千8百万円となっております。

新型コロナウイルス感染症の影響により、乗客数は令和元年度の8割程度しか回復しておらず、南北線の老朽化した施設設備の更新を控えており、厳しい経営状況が続きますが、今後も本市における基幹交通機関として市民生活において重要な役割を果たせるよう、引き続き大規模な資本的支出を見据え投資の選択と集中を行うとともに、更なる増客・増収を図り、安全・安心を最優先に、持続可能な経営を目指してまいります。

2 事業実績表

区 分	年 度	単位	令和3年度 (C)	令和2年度 (D)	対前年度比較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業 キ ロ		km	28.7	28.7	0.0	100.0
在 籍 車 両		両	144	144	0	100.0
年間走行キロメートル		km	12,572,469	12,335,801	236,668	101.9
乗 客 数	定 期 外 (A)	人	32,124,150	28,801,242	3,322,908	111.5
	定 期	人	42,857,640	40,800,000	2,057,640	105.0
	計 (B)	人	74,981,790	69,601,242	5,380,548	107.7
	一日当り	人	205,430	190,688	14,742	107.7
乗車料収入	定 期 外	千円	7,014,242	6,264,236	750,006	112.0
	定 期	千円	5,661,498	5,355,644	305,854	105.7
	計	千円	12,675,740	11,619,880	1,055,860	109.1
	一日当り	千円	34,728	31,835	2,893	109.1
職 員 数 (管 理 者 除 く)		人	423	430	△ 7	98.4
輸送人員定期外比率 (A)/(B)		%	42.8	41.4	1.4	—

(注) 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。

(参考) 事業実績表路線別内訳

(南北線)

区 分	年 度	単位	令和3年度 (C)	令和2年度 (D)	対前年度比較	
					増 減 (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業	キ ロ	km	14.8	14.8	0.0	100.0
在 籍	車 両	両	84	84	0	100.0
年間走行キロメートル		km	6,712,390	6,592,782	119,608	101.8
乗 客 数	定 期 外	人	24,227,945	21,894,255	2,333,690	110.7
	定 期	人	34,084,020	33,085,320	998,700	103.0
	計	人	58,311,965	54,979,575	3,332,390	106.1
	一日当り	人	159,759	150,629	9,130	106.1
乗車料収入	定 期 外	千円	5,291,547	4,749,719	541,828	111.4
	定 期	千円	4,227,660	4,086,219	141,441	103.5
	計	千円	9,519,207	8,835,938	683,268	107.7
	一日当り	千円	26,080	24,208	1,872	107.7

(東西線)

区 分	年 度	単位	令和3年度 (C)	令和2年度 (D)	対前年度比較	
					増 減 (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業	キ ロ	km	13.9	13.9	0.0	100.0
在 籍	車 両	両	60	60	0	100.0
年間走行キロメートル		km	5,860,079	5,743,019	117,060	102.0
乗 客 数	定 期 外	人	9,778,030	8,601,559	1,176,471	113.7
	定 期	人	14,366,760	12,846,960	1,519,800	111.8
	計	人	24,144,790	21,448,519	2,696,271	112.6
	一日当り	人	66,150	58,763	7,387	112.6
乗車料収入	定 期 外	千円	1,722,695	1,514,517	208,178	113.7
	定 期	千円	1,433,838	1,269,426	164,413	113.0
	計	千円	3,156,533	2,783,943	372,591	113.4
	一日当り	千円	8,648	7,627	1,021	113.4

(注) 1 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。

また、乗客数は南北線と東西線の乗換え分をそれぞれ含んでいる。

2 乗車料収入の金額は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値と前頁における当該項目の数値が一致しない場合がある。

3 予算決算比較表

(収益的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和3年度予算額					令和3年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額 (△減)	繰越額	合計 (A)		
高速鉄道事業収益	21,399,590	△ 1,217,358	0	1,000	20,183,232	20,079,232	△ 104,000
営業収益	16,653,740	△ 1,222,145	0	0	15,431,595	15,276,603	△ 154,992
運輸収益	15,158,928	△ 1,154,770	0	0	14,004,158	13,851,000	△ 153,158
運輸雑収益	1,494,812	△ 67,375	0	0	1,427,437	1,425,603	△ 1,834
営業外収益	4,745,442	0	0	1,000	4,746,442	4,739,458	△ 6,984
受取利息及び配当金	20	0	0	0	20	290	270
他会計補助金	485,775	0	0	1,000	486,775	460,616	△ 26,159
長期前受金戻入	4,217,429	0	0	0	4,217,429	4,214,716	△ 2,713
雑収益	42,218	0	0	0	42,218	63,836	21,618
特別利益	408	4,787	0	0	5,195	63,171	57,976
過年度損益修正益	0	371	0	0	371	372	1
その他特別利益	408	4,416	0	0	4,824	62,799	57,975
高速鉄道事業費用	23,888,544	△ 466,501	0	5,060	23,427,103	22,751,469	△ 675,634
営業費用	21,664,992	△ 388,360	0	5,060	21,281,692	20,705,754	△ 575,938
人件費	4,078,035	△ 241,089	425	0	3,837,371	3,638,320	△ 199,051
経費	7,614,176	△ 147,271	△ 425	5,060	7,471,540	7,098,111	△ 373,429
減価償却費	9,972,781	0	0	0	9,972,781	9,969,323	△ 3,458
営業外費用	2,173,542	△ 83,377	0	0	2,090,165	2,040,470	△ 49,695
支払利息及び企業債取扱諸費	1,596,296	301	△ 36,690	0	1,559,907	1,510,213	△ 49,694
消費税及び地方消費税	575,831	△ 83,678	32,660	0	524,813	524,813	0
雑支出	1,415	0	4,030	0	5,445	5,444	△ 1
特別損失	10	5,236	0	0	5,246	5,245	△ 1
過年度損益修正損	10	4,456	0	0	4,466	4,466	0
その他特別損失	0	780	0	0	780	779	△ 1
予備費	50,000	0	0	0	50,000	0	△ 50,000
当年度純損益(税込み)	△ 2,488,954	△ 750,857	—	△ 4,060	△ 3,243,871	△ 2,672,237	571,634
当年度純損益(税抜き)	△ 2,660,781	△ 751,274	—	△ 3,600	△ 3,415,655	△ 2,832,205	583,450

繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 92,926,020	0	—	—	△ 92,926,020	△ 92,926,020	0
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 95,586,801	△ 751,274	—	△ 3,600	△ 96,341,675	△ 95,758,225	583,450

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

(参考) 収益的収支路線別予算決算比較表

(南北線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 3 年 度 予 算 額					令和3年度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額 (△ 減)	繰越額	合 計 (A)		
高速鉄道事業収益	14,209,281	△ 875,684	0	0	13,333,597	13,155,502	△ 178,095
営業収益	12,444,387	△ 875,684	0	0	11,568,703	11,396,929	△ 171,774
運輸収益	11,364,725	△ 817,530	0	0	10,547,195	10,398,486	△ 148,709
運輸雑収益	1,079,662	△ 58,154	0	0	1,021,508	998,443	△ 23,065
営業外収益	1,764,486	0	0	0	1,764,486	1,758,164	△ 6,322
受取利息及び配当金	15	0	0	0	15	218	203
他会計補助金	410,215	0	0	0	410,215	390,533	△ 19,682
長期前受金戻入	1,316,481	0	0	0	1,316,481	1,316,214	△ 267
雑収益	37,775	0	0	0	37,775	51,200	13,425
特別利益	408	0	0	0	408	408	0
その他特別利益	408	0	0	0	408	408	0
高速鉄道事業費用	11,989,295	△ 325,251	△ 8,046	0	11,655,998	11,218,385	△ 437,613
営業費用	10,700,773	△ 265,040	△ 1,113	0	10,434,620	10,076,700	△ 357,920
人件費用	2,517,452	△ 175,372	298	0	2,342,378	2,233,080	△ 109,298
経費	4,651,037	△ 89,668	△ 298	0	4,561,071	4,315,907	△ 245,164
減価償却費	3,532,284	0	△ 1,113	0	3,531,171	3,527,713	△ 3,458
営業外費用	1,258,512	△ 61,483	△ 6,933	0	1,190,096	1,140,403	△ 49,693
支払利息及び企業債取扱諸費	767,808	236	△ 27,934	0	740,110	690,416	△ 49,694
消費税及び地方消費税	489,289	△ 61,719	18,093	0	445,663	445,663	0
雑支出	1,415	0	2,908	0	4,323	4,323	0
特別損失	10	1,272	0	0	1,282	1,282	0
過年度損益修正損	10	1,272	0	0	1,282	1,282	0
予備費	30,000	0	0	0	30,000	0	△ 30,000
当年度純損益(税込み)	2,219,986	△ 550,433	—	0	1,677,599	1,937,116	259,517

(東西線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 3 年 度 予 算 額					令和3年度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額 (△ 減)	繰越額	合 計 (A)		
高速鉄道事業収益	7,190,309	△ 341,674	0	1,000	6,849,635	6,923,731	74,096
営業収益	4,209,353	△ 346,461	0	0	3,862,892	3,879,674	16,782
運輸収益	3,794,203	△ 337,240	0	0	3,456,963	3,452,514	△ 4,449
運輸雑収益	415,150	△ 9,221	0	0	405,929	427,160	21,231
営業外収益	2,980,956	0	0	1,000	2,981,956	2,981,295	△ 661
受取利息及び配当金	5	0	0	0	5	73	68
他会計補助金	75,560	0	0	1,000	76,560	70,084	△ 6,476
長期前受金戻入	2,900,948	0	0	0	2,900,948	2,898,503	△ 2,445
雑収益	4,443	0	0	0	4,443	12,636	8,193
特別利益	0	4,787	0	0	4,787	62,762	57,975
過年度損益修正益	0	371	0	0	371	372	1
その他特別利益	0	4,416	0	0	4,416	62,390	57,974
高速鉄道事業費用	11,899,249	△ 141,250	8,046	5,060	11,771,105	11,533,084	△ 238,021
営業費用	10,964,219	△ 123,320	1,113	5,060	10,847,072	10,629,054	△ 218,018
人件費用	1,560,583	△ 65,717	127	0	1,494,993	1,405,240	△ 89,753
経費	2,963,139	△ 57,603	△ 127	5,060	2,910,469	2,782,204	△ 128,265
減価償却費	6,440,497	0	1,113	0	6,441,610	6,441,610	0
営業外費用	915,030	△ 21,894	6,933	0	900,069	900,068	△ 1
支払利息及び企業債取扱諸費	828,488	65	△ 8,756	0	819,797	819,797	0
消費税及び地方消費税	86,542	△ 21,959	14,567	0	79,150	79,150	0
雑支出	0	0	1,122	0	1,122	1,121	△ 1
特別損失	0	3,964	0	0	3,964	3,962	△ 2
過年度損益修正損	0	3,184	0	0	3,184	3,183	△ 1
その他特別損失	0	780	0	0	780	779	△ 1
予備費	20,000	0	0	0	20,000	0	△ 20,000
当年度純損益(税込み)	△ 4,708,940	△ 200,424	—	△ 4,060	△ 4,921,470	△ 4,609,354	312,116

(注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。

なお、路線別の内訳は、一部、運輸収益比や営業キロ比等により按分をしている。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値と前頁における当該項目の数値が一致しない場合がある。

(資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 3 年 度 予 算 額					令和3年度 決 算 額 (B)	翌 年 度 繰 越 額 (C)	増 減 額 (△ 減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額	繰越額	合 計 (A)			
高速鉄道事業資本的収入	2,169,146	4,112	0	110,000	2,283,258	1,976,717	18,111	△ 288,430
企 業 債	1,438,000	2,000	0	88,000	1,528,000	1,311,000	14,000	△ 203,000
特 例 債	16,000	0	0	0	16,000	16,000	0	0
平 準 化 債	175,000	0	0	0	175,000	175,000	0	0
出 資 金	393,000	0	0	22,000	415,000	356,000	2,000	△ 57,000
他 会 計 補 助 金	147,146	1,112	0	0	148,258	118,717	1,111	△ 28,430
国 庫 補 助 金	0	1,000	0	0	1,000	0	1,000	0
高速鉄道事業資本的支出	10,002,669	7,198	0	110,903	10,120,770	9,793,478	18,789	△ 308,503
建 設 改 良 費	1,976,078	4,589	0	110,903	2,091,570	1,795,009	18,789	△ 277,772
企 業 債 償 還 金	7,996,481	1,000	0	0	7,997,481	7,996,851	0	△ 630
投 資	100	0	0	0	100	0	0	△ 100
そ の 他 資 本 的 支 出	10	1,609	0	0	1,619	1,618	0	△ 1
予 備 費	30,000	0	0	0	30,000	0	0	△ 30,000
差 引	△ 7,833,523	△ 3,086	0	△ 903	△ 7,837,512	△ 7,816,761	△ 678	20,073

補 て ん 財 源	2,977,402	△ 806,945	41,274	6,482	2,218,213	2,734,018	1,708	517,513
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	167,424	417	0	10,082	177,923	155,820	1,708	△ 20,395
損益勘定留保資金	6,224,864	△ 56,088	41,274	0	6,210,050	6,164,508	0	△ 45,542
当 年 度 純 損 益	△ 2,660,781	△ 751,274	0	△ 3,600	△ 3,415,655	△ 2,832,205	0	583,450
前 年 度 繰 越 金	△ 754,105	0	0	0	△ 754,105	△ 754,105	0	0
資本費負担緩和分企業債	1,171,000	0	0	0	1,171,000	1,150,000	0	△ 21,000
特別減収対策企業債	0	3,700,000	0	0	3,700,000	2,900,000	0	△ 800,000
当 年 度 末 資 金 剰 余 額	△ 3,685,121	2,889,969	41,274	5,579	△ 748,299	△ 1,032,743	1,030	△ 283,414

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

○資金不足比率

(単位：千円，%)

資金不足額 (※1) (a)	事業規模 (※2) (b)	資金不足比率 (a)/(b)
0	13,985,429	—

※1 資金不足額については、解消可能資金不足額12,243,220千円を控除した額である。

※2 事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

(参考) 資本的収支路線別予算決算比較表

(南北線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和3年度予算額					令和3年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増減額 (△減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	繰越額	合計 (A)			
高速鉄道事業資本的収入	2,050,146	0	0	110,000	2,160,146	1,880,717	14,000	△ 265,429
企業債	1,342,000	0	0	88,000	1,430,000	1,234,000	12,000	△ 184,000
特例債	16,000	0	0	0	16,000	16,000	0	0
平準化債	175,000	0	0	0	175,000	175,000	0	0
出資金	370,000	0	0	22,000	392,000	337,000	2,000	△ 53,000
他会計補助金	147,146	0	0	0	147,146	118,717	0	△ 28,429
高速鉄道事業資本的支出	6,652,893	△ 10	0	110,903	6,763,786	6,476,721	14,200	△ 272,865
建設改良費	1,856,336	0	0	110,903	1,967,239	1,698,235	14,200	△ 254,804
企業債償還金	4,778,487	0	0	0	4,778,487	4,778,485	0	△ 2
投資	60	0	0	0	60	0	0	△ 60
その他資本的支出	10	△ 10	0	0	0	0	0	0
予備費	18,000	0	0	0	18,000	0	0	△ 18,000
差 引	△ 4,602,747	10	0	△ 903	△ 4,603,640	△ 4,596,004	△ 200	7,436

(東西線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和3年度予算額					令和3年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増減額 (△減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	繰越額	合計 (A)			
高速鉄道事業資本的収入	119,000	4,112	0	0	123,112	96,000	4,111	△ 23,001
企業債	96,000	2,000	0	0	98,000	77,000	2,000	△ 19,000
出資金	23,000	0	0	0	23,000	19,000	0	△ 4,000
他会計補助金	0	1,112	0	0	1,112	0	1,111	△ 1
国庫補助金	0	1,000	0	0	1,000	0	1,000	0
高速鉄道事業資本的支出	3,349,776	7,208	0	0	3,356,984	3,316,757	4,589	△ 35,638
建設改良費	119,742	4,589	0	0	124,331	96,773	4,589	△ 22,969
企業債償還金	3,217,994	1,000	0	0	3,218,994	3,218,366	0	△ 628
投資	40	0	0	0	40	0	0	△ 40
その他資本的支出	0	1,619	0	0	1,619	1,618	0	△ 1
予備費	12,000	0	0	0	12,000	0	0	△ 12,000
差 引	△ 3,230,776	△ 3,096	0	0	△ 3,233,872	△ 3,220,757	△ 478	12,637

(注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値と前頁における当該項目の数値が一致しない場合がある。

4 建設改良事業の概要

(単位：千円)

科 目	令和3年度 事業費	主たる事業
建 物	870,491	エスカレーター設備増設・更新
線 路 設 備	11,059	鉄道用地フェンス設置
電 路 設 備	577,503	高圧受電設備等更新
車 両	583	特殊車搬送台車購入
機 械 装 置	242,688	可動式ホーム柵設備定期交換部品更新
工具・器具・備品	10,464	L A Nサーバ等更新
建 設 諸 費	82,221	人件費
計	1,795,009	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。